

令和 8 年度第 1 回福知山市地域公共交通会議本会議 議事録

日時：令和 8 年 5 月 2 5 日（月） 1 5 時 0 0 分～ 1 6 時 0 0 分

場所：福知山市役所 6 階 会議室 6 0 1

1 開 会 （議事進行：事務局）

※出欠状況については別紙「出席者名簿」参照

※事務局：都市・交通課（事務局長：川見交通政策担当課長）

2 協議事項 （議事進行：会長 前川副市長）

（1） 令和 9 年度福知山市を運行する地域間幹線系統路線の運行計画策定について一事務局より説明―

- ・地域間幹線系統路線運行計画を策定する京都交通株式会社三和線の令和 9 年度における輸送実績・平均乗車密度の予測算定、運行に係る経常費用についてそれぞれ説明を行った。

【意見等】

特になし。 → 協議事項は承認された。

（2） 令和 9 年度福知山市を運行する地域内フィーダー系統路線の運行計画策定について一事務局より説明―

- ・地域内フィーダー系統路線運行計画を策定する京都交通株式会社まちなか循環 4 路線、岩間循環線、中京交通園福線の令和 9 年度における利用者数目標、利用促進施策の方向性についてそれぞれ説明を行った。

【意見等】

特になし。 → 協議事項は承認された。

（3） 園福線地域旅客運送サービス継続実施計画の再認定について一事務局より説明―

- ・令和 8 年度に計画期間が終了する園福線地域旅客運送サービス継続実施計画について、再認定を目指す目的や今後の進め方、スケジュールについてそれぞれ説明を行った。

【意見等】

特になし。 → 協議事項は承認された。

（4） 次期福知山市地域公共交通計画の策定について一事務局より説明―

- ・令和 8 年度に計画期間が終了する福知山市地域公共交通計画について、計画期間を 1 年延長する旨と今年度に計画策定に係る調査事業を実施する旨についてそれぞれ説明を行った。

【意見等】

特になし。 → 協議事項は承認された。

3 その他 （議事進行：会長 前川副市長）

- ・川本委員（京都交通）

「令和 7 年 2 月にまちなか循環天津ルートの運行に関する協議の間でもお話しさせていただいたが、全国的な傾向の例に漏れず、京都交通も在籍しているドライバーの高齢化が進み、

新たなドライバーもなかなか入ってこないということで、安定的な運行には厳しい状況が依然として続いているというのが今の状況である。そこで今後についての話となるのだが、現在福知山市内で運行している路線のうち、特に川北線と岩間循環線については現在の利用状況を鑑みると現行の路線バスの形態での運行を継続することが極めて難しい。そこで、今後も沿線住民の移動手段を確保するため、当該路線の再構築について福知山市と協議を行いたい。今後は他の路線についても利用実態を調査し、運行の在り方について検討していくため、当社の実情をご理解いただいた上で何卒協議の場を設けていただきたい。」

→前川副市長

「ドライバーの不足については全国的に問題となっていることを聞き及んでいる。しかし、現在それらの2路線を利用されている方がおられることも事実であり、その方たちの利便性を損なわない形で進めるためにも、すぐに結論を出さず慎重に協議を進めていただきたい。」

→川見課長

「令和7年2月の会議において京都交通から路線運行の将来性についてのお話があって以降、福知山市においても市内を運行するいくつかの路線において乗降調査を行っており、利用状況等の確認や沿線自治会での意見交換会についても順次実施しているところである。川本委員が挙げていただいた川北線・岩間循環線については、いずれも利用者数が少なく、地域住民も自家用車の利用が中心となっていた。路線バスの利用については、使いたい時間に運行していない、家からバス停までが遠い、乗り方がわからない等のご意見をいただき、現行の運行形態を維持しても沿線住民の利便性には必ずしもつながらないのではないかと本市としては考えている。こうした状況や地域住民の意見を加味し、現在の利用者や将来の利用者の利便性を確保できるような内容で再構築の検討を進めていきたい。」

→野中委員（中京交通）

「旧園部町での事例なのだが、経路上で手を挙げればどこであっても乗車ができるフリー乗降システムという制度が実施されていた。参考になれば。」

→川見課長

「本市でも平成27年頃にフリー乗降を試験的に導入していたこともあったが、事前の想定よりも利用が少なかったこと、事故が発生したこと等の理由から導入が中止されたという経緯がある。ただ、車両の小型化が進み当時とは状況が異なる部分もあるため、いただいた事例については研究していきたいと思う。」

・桐村委員

「資料7ページの数値に一部計算が合わない部分があるように思うのだが、これはどうなっているのか。」

→川見課長

「確認し、後ほど委員宛にご説明の文書を送付させていただく。」

※後日、修正資料を送付